野生動物・害虫に関する対処法

桶川市環境対策推進課

令和８年 11 月

ハクビシン



＜写真：Denise Chann　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

全長は約 90～110ｃｍ、体重は約３～４kg

顔の真ん中に白い線、木登りが得意、夜行性、果物が好物

電線を渡れる

類似動物（アライグマ）との違いは、尻尾が長く、尻尾に縞模様がない

被害・出没状況

農作物では果実の被害が多い（ビワ、トウモロコシ、スイカ、ブドウ、ナシなど）

果実袋をきれいに破る

家屋では天井裏またはベランダ等に糞尿をまき散らす

ペットの餌を食べる、生ゴミをあさる

市街地の出没が多い、空き家をねぐらとする

対処法

果実を早めに収穫する

床下、軒下の穴、通風口をふさぐ

木酢液、竹酢液、害虫くん煙剤等の忌避剤を使用する（ただし、薬剤の効果は一時的あるため、追い出したらすぐにすき間や侵入口をふさぐ）

空き家では定期的に掃除を行う

※特定外来生物に指定されていないため、捕獲できません。追い出し、自衛等でご対応ください。

アライグマ



＜写真：pixabay.com　ライセンス：CC0　写真リンク＞

特徴・生態

学習能力が高い、木登りが得意、尻尾が縞模様、目の周りが黒い、夜行性、雑食

足跡は、5 本指で人間に近い、力持ち

類似動物（ハクビシン）との違いは、尻尾は短く、縞模様がある

被害・出没状況

農作物では果実の被害が多い（トウモロコシ、スイカ、ブドウ、ナシなど）

池の魚だけでなく、水槽の魚も食べる

果実袋を裂けるように破る、また袋に汚れが残る

家屋では天井裏に侵入して糞尿をまき散らす、物音、柱に引っかき爪跡を残す

ペットの餌を食べる、生ゴミをあさる

空き家をねぐらとする

田畑森林のある地域に出没が多い

対処法

果実を早めに収穫する、収穫した果実は厳重保管

床下、軒下の穴、通風口をふさぐ

木酢液、竹酢液、害虫くん煙剤等の忌避剤を使用する（ただし、薬剤の効果は一時的であるため、追い出したらすぐにすき間や侵入口をふさぐこと

空き家では定期的に掃除を行うこと

魚がいる水槽は家屋内に避難・厳重保管

市役所では、アライグマ捕獲のための箱ワナを貸出しております。被害に困っている方は、市役所にご相談ください。

イノシシ



＜写真：pixabay.com　ライセンス：CC0　写真リンク＞

特徴・生態

神経質、警戒心が強い、嗅覚に優れる、１ｍの高さの柵も飛び越える、時速約 45ｋｍで走れる、市街地では夜活動することが多い、田んぼで泥浴びをする

味が濃厚で甘みの強いものが好物、雑食性

被害・出没状況

夜間の市街地に出没

農作物を食べ荒らし、土を掘り起こす

飼い主が犬を連れていると攻撃してくる

対処法

遭遇した場合、イノシシに近づかず、安全な場所に避難する

特に、犬を連れているときはリードを手放して犬と分かれて避難する

生ゴミを放置しない

農作物の自衛は、動物用防除柵を設置する

餌となる農作物を防除柵越しに見えないよう目隠しする

イノシシを見かけたら市役所、上尾警察署または中央環境管理事務所のいずれかへすぐに連絡・相談してください。

カラス



＜写真：Wikipedia 投稿者　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

雑食性、地上 20m前後の樹上や高圧鉄塔に巣をつくる、ゴミ集積場に集まる

知能が高く、針金で縛った巣箱のふたを開いてヒナや卵を食い荒らす

被害・出没状況

ゴミ集積場では、袋を破いてゴミをあさる

防鳥ネットのわずかなすき間からも入ってゴミをあさる

畑では地上に果実があると食い荒らす

繁殖期は、卵やヒナを守るため通行人、住民に対して威嚇や鳴き声を繰り返す

対処法

ゴミ出しの曜日、時間を守る

ゴミに防鳥ネットを掛けるだけでなく、おもりを置く、すき間なく締めて容易に入れないようにする

巣に卵がある、ヒナがいる場合は、巣立つまで見守る（30～50 日で巣立ちます）

巣やヒナの場所を避けて通る道を変えるか、傘やヘルメット、帽子などで自衛する。

農作物は網やテグスを張って守る

ドバト



＜写真：Wikipedia 投稿者　ライセンス：CCBYSA　写真リンク ＞

特徴・生態

人や犬猫が来ない場所に巣をつくる、雨風を避けられ、直射日光が入らない所、餌場が近くにある

被害・出没状況

人が多く集まる駅前、公園等で餌やりをすると棲みつきます

マンション・アパートではベランダや通路・階段等に糞をする

対処法

ゴミ出しの曜日、時間を守る、ゴミにネットを掛ける

鳥が飛来するたびに音を出して追い払う

ベランダの手すり５ｃｍ上に手すりと平行にテグスやピアノ線を張って鳥が止まりにくくする

ＣＤをベランダの天井から吊り下げる

巣をつくられないようにするため、普段から清掃や整理を行う

アメリカシロヒトリ




＜写真（左）：Alison Hunter　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞
＜写真（右）：TampAGS　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

6 月中旬～7 月上旬、8 月上旬～9 月中旬の年 2 回ふ化、一匹の産卵数約 800～1200 個程度、クモの巣のような巣網をつくる

落葉樹（サクラ、柿、柳、梅、ハナミズキ、桑など）に多い

被害・出没状況

樹木を丸坊主にする、葉を白く枯れさせる

とくに毛虫は、周辺のコンクリート壁に大量に張り付く

対処法

巣の中にいるうちに駆除が効果的

枝葉を切り落とす際は、高枝切りバサミを使って毛虫に手が触れないように作業を行う

毛虫に成長してしまった場合、殺虫剤で駆除できますが、巣網から出て分散するため駆除に手間がかかります

チャドクガ




＜写真（左）：Wikipedia 投稿者　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

＜写真（右）：Sui-setz　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

お茶の木、椿、サザンカなどに発生する。葉の裏に卵塊をつくって越冬します。幼虫は 4～6 月、8～9 月の年 2 回発生する

被害・出没状況

通行途中のサザンカの葉に触れて刺される

夏の除草作業で葉に触ることで、虫に刺される

対処法

卵の段階または、できるだけ幼虫が小さく固まっているうちに対応

4 月上旬、8 月上旬に駆除するのが効果的、園芸用殺虫剤で駆除可能

刺された場合は、皮膚についたチャドクガの毛をセロテープ等で取り、よく洗い流す

かゆみが治まらない時は皮膚科を受診してください（市販薬は効果がありません）

クビアカツヤカミキリ



＜写真：Wikipedia 投稿者　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

幼虫は 4～6 月、成虫は 6～10 月。サクラに生息することが多い成虫の体長は 2.5～4 センチ。幼虫が生木に食入・加害することで樹木を衰弱させる。生木内部を摂食する際にフラス（木屑）を排出する。樹木内で２～３年かけて成長

被害・出没状況

樹幹に穴

穴の根元にフラスが溜まる

幼虫による食害が進むと、枯死、倒木の危険性がある

古木・大木につきやすい

対処法

成虫を見つけたら踏みつぶす等して捕殺する。6～8 月に防鳥ネットを樹幹に巻きつける

幼虫の場合、フラスが発生している食入孔から薬剤を注入して殺虫

情報提供

成虫やフラスを見つけた場合、市役所又は中央環境管理事務所へすぐにご連絡ください。

※特定外来生物であるため、生きたまま運ぶことは法律で禁止されています。成虫を見つけた際は、その場で捕殺をお願いいたします。

ツヤハダゴマダラカミキリ



＜写真：Wikipedia 投稿者　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

成虫は 5～10 月頃に出現し、落葉広葉樹に生息することが多い成虫の体長は 2～3.5 センチ。幼虫が生木に食入・加害することで樹木を衰弱させる。生木内部を摂食する際にフラス（木屑）を排出する。樹木内で約 1 年かけて成長

被害・出没状況

樹幹に穴

穴の根元にフラスが溜まる

幼虫による食害が進むと、枯死、倒木の危険性がある

古木・大木につきやすい

対処法

成虫を見つけたら踏みつぶす等して捕殺する。6～8 月に防鳥ネットを樹幹に巻きつける

幼虫の場合、フラスが発生している食入孔から薬剤を注入して殺虫

情報提供

成虫やフラスを見つけた場合、市役所又は中央環境管理事務所へすぐにご連絡ください。

※特定外来生物であるため、生きたまま運ぶことは法律で禁止されています。成虫を見つけた際は、その場で捕殺をお願いいたします。

セアカゴケグモ



＜写真：Wikipedia 投稿者　ライセンス：CCBYSA　写真リンク＞

特徴・生態

メスの成体の体長は 7.0～1.0mm、全体が黒色で、腹部の背面に目立った赤色の縦条がある。オスの成体の体長は 4.0～5.0mm、腹部の背面は灰白色で、中央に緑取りのある白い斑紋がある。

被害・出没状況

咬まれると、局部に痛みやかゆみを感じ、咬まれた部分が腫れて赤くなります。悪化すると全身症状が表れることもあります。通常は、数時間から数日で症状は軽減しますが、時に脱力、頭痛、筋肉痛、不眠などの全身症状が数週間継続することがあります。陽のよくあたる場所で、地面近くのくぼみや穴、隙間に営巣する。

対処法

セアカゴケグモに攻撃性はありませんが、毒があり触ると咬まれることがありますので、素手で捕まえたり、触らないようにしてください。

家庭用殺虫剤（ピレスロイド系）を用いるほか、靴で踏みつぶす等の方法により捕殺してください。

情報提供

セアカゴケグモを見つけた場合、市役所又は中央環境管理事務所へすぐにご連絡ください。

※特定外来生物であるため、生きたまま運ぶことは法律で禁止されています。セアカゴケグモを見つけた際は、その場で捕殺をお願いいたします。

＜野生動物、害虫に関する連絡先＞

桶川市環境対策推進課	０４８－７８６－３２１１
上尾警察署	０４８－７７３－０１１０
中央環境管理事務所	０４８－８２２－５１９９